

第 27 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 5 年 2 月 28 日（火） 10:00～11:00

2. 場 所：WEB会議（一部 横浜国道事務所）

3. 要 旨：

- 令和 4 年度での主要渋滞箇所の見直し（解除）結果について了承された。
- 主要渋滞箇所の評価手法見直し方針について了承された。
- 新型コロナウイルス情勢下に伴う交通状況分析について報告した。
- TDM実施モデル箇所の取組状況について報告した。
- 最新の取組状況として、「国道 2 4 6 号東原四丁目交差点改良」等について報告した。

4. 議 事：

（1）委員会の検討経緯と論点について

- 意見無し。

（2）令和 4 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について

- 令和 4 年度での主要渋滞箇所の見直し（解除）結果について了承された。

【意見】事業による明確な効果がみられたため解除された箇所が 2 箇所あるが、改善状況について説明いただきたい。（委員長）

【回答】該当交差点（大塚交差点、歴史博物館前交差点）ともに対策事業である横浜北西線の開通に伴う速度改善が確認できたため、解除となった。（事務局）

（3）主要渋滞箇所の評価手法見直しについて

- 主要渋滞箇所の評価手法見直し方針について了承された。

【意見】旅行速度の把握方法は ETC2.0 プローブデータを用いているのか。また、評価手法の見直しについて、評価区間長が短いリンクについては、区間を積み重ねて 200m 以上として評価しているが、速度を平均する際には延長も考慮しているのか。（委員長）

【回答】その通りである。（事務局）

【意見】評価手法の見直しによって基準値を上回った 5 交差点について、現地確認はしているか。（委員長）

【回答】現在は現地確認していない。次年度以降に指標が上回った交差点については、見直した解除フローに従い、解除に向けた検討を実施していく。（事務局）

（4）新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析について

【意見】引き続き状況のモニタリングを継続していただければと思う。（委員長）

（5）TDM実施モデル箇所の取組状況について

【意見】今回のような取組が事前に広く知られ、あらかじめ調べて来てくれる方が増えることで、さまざまな効果が期待できる。（委員長）

（6）最新の取組状況について

- 意見無し。

以上